

地域リハビリテーション支援体制の充実・強化（質の向上）に向けて

1 リハビリテーションサービスの整備と充実（質の向上）

- 地域リハビリテーションケース会議の開催
 - ・ 引き続き、医療・介護従事者等を対象に、事例を通じてその人らしい生活の再構築、入院から在宅への切れ目ない支援などを学ぶ研修会を開催する
 - ・ また、その人らしい生活の実現に向けて、心身機能への働きかけと、その人の役割や医生きがい、人とのつながりなど社会面への支援を同時に行う必要があることを共有する
- リハビリテーション相談窓口の設置
 - ・ 市内2か所に地域リハビリテーション支援センターを設置し、地域包括支援センターやケアマネジャー等に対しリハビリテーションに関する相談に応じ、自立支援に資する助言や提案を行うことにより質の高いケアマネジメントを支援する。

2 連携活動の強化・ネットワークの構築

- リハビリテーション連絡協議会の運営
 - ・ 引き続き、医療・介護従事者等を対象に、事例を通じてその人らしい生活の再構築、入院から在宅への切れ目ない支援などを学ぶ研修会を開催する
- 関係機関等との連携強化
 - ・ 地域リハビリテーション支援センターは様々な機関をとらえて、職能団体や関係機関と連携し、職種間のつながりの強化を図る

3 リハビリテーションの啓発・地域づくり支援

- 地域リハビリテーション協力機関の充実
 - ・ 支援体制の充実を図るため、市内の医療機関等に積極的に事業説明を行い、地域リハビリテーション協力機関の登録数を増やす
- 住民主体の通いの場等への支援
 - ・ 高齢者サロン等での活動に、リハビリテーション専門職を派遣し、介護予防や健康づくりに効果的な助言や提案を行う
 - ・ リハビリテーション専門職が地域活動に関与する目的などを意識共有できるよう、必要な視点や具体的な支援内容がわかるマニュアル作成を進める
 - ・
- 地域支援者との連携強化
 - ・ 地域への支援内容を充実するため、引き続き、地域支援コーディネーター等との情報交換やリハビリテーションの啓発に取り組む